

町議会 だより

Nagayo Town
Assembly
Newsletter

12月定例会

- ◎図書館建設土地購入 基金へ4億円… 2
- ◎庁舎内組織が変わります…………… 3
- ◎10人が問う一般質問 …………… 5~15
- ◎議会報告会を開催しました…………… 16

平成28年1月20日発行
長崎県長与町議会



(未来へはばたけ 新成人590人)

図書館建設土地購入 基金へ4億円

27年第4回定例会が12月1日から14日まで開かれ、一般会計補正予算など執行部提出議案12件、委員会提出議案2件を審議し、14件を可決しました。

可決
賛成13:反対2

一般会計補正予算

一般会計に9億8015万5千円を追加し、総額128億4969万5千円となりました。



造成が進む榎の鼻土地区画整理地

高田南土地区画整理 用地購入費

2405万2千円

問 用地購入費の購入坪単価はいくらか。

答 土地開発基金で先行取得していた土地を買い戻すもの。坪単価は、約9万9400円である。

教育振興基金積立金

2億3691万4千円

問 条例が可決されていないのに積立金や基金からの繰入金で計上されている。法的に問題ないのか。

答 地方自治法222条で、「条例を提出する場合財源を計上する予算を同時に提出しなければならない」と規定されているので問題ない。

直売所まんてん横 駐車場整備

680万円

問 直売所まんてん周辺の整備工事の概要はどうか。

答 約2300㎡の敷地のうち700㎡の整備、舗装工事を予定している。

第6分団格納庫 駐車場追加工事など

88万円

問 6分団車止めの追加工事は、当初予算で計上できなかったのか。

答 当初予定しなかった。格納庫利用者が駐車場として利用する。

課税事務新システム 導入委託料

122万1千円

問 イメージ管理システム用ディスプレイ5台では課税の効率化に疑問がある。増やすべきではないか。

答 安価な機器があるか調査したい。数多く導入すれば効率も良くなり時間外勤務も減る。

反対討論

町民へ説明責任を果たせ
・目的基金を統合し、図書館財源捻出は、町民に説明責任を果たすことはできない。意見が二分している図書館場所を榎の鼻に決定づけるのは、容認できない。
(堤)

賛成討論

図書館建設早期着工を
・子どもの医療費助成拡大は、乳幼児期から幅広い年代まで手厚いサービス。福祉の増進を図り、健康の向上、経済的負担軽減を目的とした子育て支援は大いに期待する。(金子)
・先行取得土地購入は、図書館建設の第一歩。国の補助金に見通しをつけ早急に着工を希望する。
(金子・安部)

可決

賛成13・反対2

長与町教育振興基金条例

本町の教育振興事業の円滑化を図るため、教育委員会が所管する長与町図書基金、義務教育施設整備基金、長与町体育振興基金、長与町文化振興基金を統合し、長与町教育振興基金条例を制定する。

反対討論

子どもたちのための基金が不安定になる
・元々の基金の目的と意義をないがしろにする内容となっていること、そして子どもたちの安全のための基金が不安定になり後回しにされる恐れが高いと判断し本条例に反対。
(堤)

賛成討論

基金利用の利便性が増す

・本条例案は図書・義務教育施設・体育・文化の4基金を一本化し、基金額を一定の規模にすることで、基金利用の利便性を増そうとするものであり、有効に活用されることを期待する。
(安藤)

可決

賛成13・反対2

長与町土地開発基金条例の一部を改正する条例

長与町図書館建設用地の先行取得を行うため基金を増額するもので、基金の額4億7600万円に4億円を加え、8億7600万円とする改正。

反対討論

図書館建設時期が不明
・図書館建設の場所について、住民の理解が得られておらず、また町の財政が逼迫している中、建設時期がいつになるかも分からない状況で、用地を取得するなど容認できないので反対。
(河野)

賛成討論

土地の先行取得は必要

・基金の額を4億円増額し、図書館の建設用地の先行取得を行うためであり、今後は補助金の確保やコンパクトな効率性のある施設の建設などを要望する。
(石永)

可決

賛成12・反対3

長与町(法律名省略)個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

法律に基づき、町の行政手続きにおいて、個人番号の利用及び特定個人の情報の提供に必要事項を定めるもの。
個人番号の利用の範囲は、保育料の関係・就学援助・地方税関係情報など。

質疑

問 他の自治体は9月で提出されている。もう少し早めには出来なかったのか。
答 この条例は、28年1月1日スタート。町の事務は29年1月頃から始まる。

問 条例の名称について簡単に出来なかったのか。
答 県の条例案を以って決めた。

反対討論

メリットよりデメリットが多い
この条例では、1つには情報の漏えいに関する懸念がある。2つ目には、国民の理解がすすんでいないこと。マイナンバーのそもそもの目的は、「国民の利便性向上」というより、国や自治体が、「国民の所得・資産を効率的に掌握し、税の徴収や社会保障の給付などを監視するための制度である。町や住民のメリットよりもデメリットの方がはるかに多い。
(堤)

賛成討論

公平、公正な社会を創る

本条例の制定に伴い、社会保障や税にかかる各種提出書類の省略や簡素化が可能となり、住民の利便性、行政事務の効率化が図られる。マイナンバーの第二義は、公平公正な社会を創ることにあり、行政の効率化、住民の利便性に期待できる。
(安藤)

全会一致可決

長期継続契約を締結する条例

町の施設数、物品の借り入れの増加により、毎年の契約ではなく、長期に継続契約の対象を定めるもの。契約の種類は、物品の借り入れと施設の維持管理などの2種類。
「物品の借り入れ」…電子計算機複写機、自動車など。
「施設の維持管理など」…施設の運転管理業務・維持管理および保守点検など。

問 コストの削減効果はどのようになっているのか。
答 コストが安くなるのが予想されるが、施設の基本は5年以内となっているが、規則の中で個別にうたうべき一番長い契約は、何年になるのか。
答 自動車は6年。エスコが11年。

全会一致可決

部設置条例等の一部改正する条例

住民のニーズや行政課題に迅速かつ柔軟に対応し、住民にとって利便性の高い組織にするための改正。

①現在4部制になっているものを5部制にする。
②増加するものは、現在の福祉部を住民福祉部と健康保険部に分けること。
③部の名称を変更

企画振興部を企画財政部とすること。
建設部を建設産業部とすること。
④各部の主な業務内容
(総務部) 行政管理、地域住民および安心安全部門
(企画財政部) 政策企画、財政・税務部門
(住民福祉部) 住民環境社会福祉子育て支援部門
(健康保険部) 保険・年金・健康づくり部門
(建設産業部) 建設・農林水産・商工業部門

改正による住民のメリットは何か。
答 名称が分かりやすくなった。

問 企画と財政部門の連携により、情報の共有、重要施策の推進を図る上では良い。

答 企画と財政部門の連携により、情報の共有、重要施策の推進を図る上では良い。

可決
賛成13:反対2

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険財政の健全運営のため、
税率の見直しを行う。

国保税(料) (平成27年度)

市 町	モデルによる 保険税
	金額
長与町 (現在)	213,800
県内市町の平均	244,719



長与町 (改定案)	229,800
--------------	---------

※モデル保険税算出基礎

世帯構成：夫婦2人(40歳以上)、子ども1人
世帯所得…課税所得998,000円
(軽減判定所得1,328,000円)

固定資産税…42,000円

軽減…2割軽減
(H27.6.1当初賦課資料の平均値による。)

賛成討論

健全財政の維持管理と疾病予防に努力
行政においては、健全財政の維持と疾病予防にさらなる努力を。また、納税に苦勞している人々の立場を理解してもらい、真摯に対応してもらいたいことを要望し賛成とする。(饗庭)

反対討論

保険税の引き上げは行うべきではない
国保税の滞納者は軽減世帯が93%と圧倒的に多く、所得が低く軽減策を受けているにも滞納になるのは保険税負担がいかに重いかを表していると思う。保険税の引き上げは行うべきではないと判断し本議案に反対する。(河野)

国民健康保険特別会計補正予算

**全会一致
可決**

3396万円を増額
総額 50億906万円

問 28・29年度も安定繰入金があるが、繰入金
金の時期はやはりこの時期になるのか。
答 算定をするのが、10月20日現在で計算し
ている。法律が変わらなければ、この時
期になる。

土地区画整理事業特別会計補正予算

**全会一致
可決**

693万円を増額
総額 9億9565万円

問 道ノ尾駅前はまだ、未処分保留地がある
のか。
答 過少宅地救済の保留地はある。

下水道事業会計補正予算

**全会一致
可決**

収益的支出9億7140万円総額
資本的支出4億1481万円総額

問 給与の級別職員数は、人事異動の際計画
的に配置されているのか
答 級別の職員数が当てはめるような状況は
ない、各級は資質、能力に応じて定めら
れる。

税条例等の一部を 改正する条例

**全会一致
可決**

主な内容

納税者の負担軽減を図るため
の納税者からの申請に基づく猶
予制度の創設。猶予に係る担保の
徴収基準などの改正、番号法に伴
う所要の措置の改正への一部改
正を行うもの。

問 災害・病気・その他納税者が
困難な事由がある場合の猶
予制度と理解して良いか。
答 納税が困難になり、条例に
定める条項に当てはまり、
滞納者の申請で猶予が出来
る制度だ。納税者の負担軽
減になる。

問 50万円以上の滞納者は担保
か保証人を徴求とあるが、保
証人がいない場合保証協会
などの保証はできないのか。
答 基本的には、担保か保証人
が必要。滞納者と相談する
ことになる。

10人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。

制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。

原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

掲載ページ

6	金子 恵 議員	①町政運営について ②18歳選挙権に対する取り組みについて
7	吉岡 清彦 議員	①生きがいづくりの政策推進について ②五蠹行政からの脱却について ③教育委員会について
8	竹中 悟 議員	①町長のリーダーシップについて ②改ざんは許さない について
9	分部 和弘 議員	① 防災について ② 新たな視点での防犯について ③ 幸福度日本一への取り組みについて
10	西岡 克之 議員	① 教育問題について ② 福祉政策について
11	饗庭 敦子 議員	① 生活交通確保対策について ② 子どもの貧困について
12	安部 都 議員	① 災害時の避難場所のあり方と救助と避難について ② 道ノ尾駅での長与の農産品・特産品の販路拡大と活性化について ③ マイナンバー制度について
13	安藤 克彦 議員	① 新図書館建設に向けての取組について ② 「ふるさと納税」の更なる推進について
14	堤 理志 議員	① 時代にあった公園のあり方について ② 子育て支援策としての住宅リフォーム助成について
15	河野 龍二 議員	① 都市計画道路西高田線の今後について ② 農業振興策の取り組みについて ③ 子ども医療費助成の拡大について



かねこ 恵 議員

2期目 出馬意思を明確にせよ

回答 意見を集約し早い時期に表明する

議員
1期目をどう総括するのか。

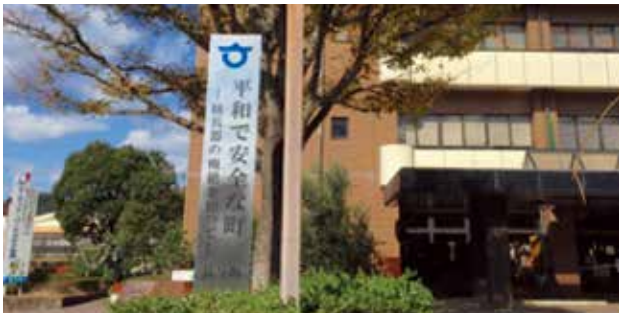
町長
「幸福度日本一のまち」を目指し事業に取り組んできた中で、町民意識調査では87%の町民が「住みやすい」と回答している。全体として満足度が高いことが伺える。今後とも、現在取り組んでいる事業の早期完成、就任時に示した「想い」の実現に向け、期待に応えるべく努力する。

来期の重要施策は

議員
来期、進める重要施策は何か。

町長
新図書館建設も視野に入れながら、憩いのある生活空間、コミュニティ交通の導入、地場産業の活性化、町民が健康で長生きできる「安心してずっと住めるまち」、妊娠から子育て期、学校教育までの一貫した環境の充実を図り、「子どもを育てたくなるまち」を目指す。

議員
安心して暮らせるまちづくり



住民の幸せな暮らしのための町政を

のためには、高齢者の見守りは喫緊の課題である。情報インフラの活用は厳しい。アナログ的な「見守りマップ」を全自治会で完成し見守ることが重要だがどうか。

福祉部長
マップ作りには信頼が必要であり、時間がかかる。その中で完成に向け進めていく。

議員
制度のはざまで見過ごされてきた日中独居問題など山積している。2期目、どのように向き合っていくのか。

町長

少子高齢化問題を施策の中で行っていくことが大切であると思う。信頼関係を深め、解決策を見つけていく。

議員
出馬に対し、前向きであることは感じる。しかし、表明が遅いのは選挙の関心度、透明性を考えるとマイナス要因ではないか。意思表示を明確にせよ。

町長

後援会などの意見を集約し、早い時期に表明をする。

問 長与北小モデルをどう活用するか

答 社会科教育の一環として対応する

議員
主権者教育において、中立性を重んじるばかりに教師が躊躇するといった話も聞く。基準はあるのか。

教育長
教育基本法にのっとり進めていく。指導テキストにはQ&Aなども載る。これが基準になっていくのではないかと考

える。

議員
投票行動を促すために前提になることはあるのか。

教育委員会理事
社会的自立、主体的に判断する力というものを政治的教養ではなく実践的に教えていく必要があると思う。

議員
「長与北小モデル」と言われる今回の取り組みを、今後どのように活用していくのか。

総務課長
町選挙管理委員会と県立北陽台高校で講話を行う。また、小中学校に関しても社会科教育の一環として要望があれば対応していく。



よしか 吉岡 議員

幸せ 健康寿命で120歳の宣言を

回答 今のところ考えていない

議員

今日、超高齢化社会に突入しようとしている。それに向けて「幸せ寿命」や「健康寿命」対策の推進が必要と思われる。そこで「幸せ寿命・健康寿命120歳長与」宣言を提言するがどうか。

町長

25年3月に町の健康増進計画である「第2次健康ながよ21」を策定し、各種事業に取り組んでいる。特に壮年期になると、生活習慣病を含む疾病の予防のために取り組んでいる。よって「幸せ寿命・健康寿命120歳長与」宣言については考えていない。

- 「ながよしサロンのモットー」
- 一、一日100回の大笑い
 - 一、楽しく 楽しく
 - 一、輪になって和となる
 - 一、120歳まで元気で
 - 一、お世話を怠らず
 - 一、330回の取り組み

幸せ寿命・健康寿命で120歳

議員

高齢者の生きがいづくりの政策として、「再生センター」を設置して、楽しく活動してもらうこともこれから必要と思うがどうか。

町長

建屋の問題、収集方法の問題、人材確保の問題などをはじめ、財政的な面からも実現は難しい。

議員

資源化物の回収時において、車両事故における賠償責任は個人負担となっているが、行政が補てんすべきであると思いがどうか。

町長

賠償責任を補てんすることは困難である。

議員

ごみステーションも拠点として据えてよいと思うがどうか。

町長

従来の分別と収集方法を変更して、「資源化物の拠点回収」を実施してきた。

行政放棄でないか

議員

今の資源化物の回収制度は、

議員

住民に無理を押しつけたやり方であり、行政放棄と捉えられるがどうか。

町長

町と長与町保健環境連合会と協議を行い、町民の負担軽減策として実施している。

議員

資源化物の拠点回収制度を「条例」化すると思うがどうか。

町長

必要ないと考えている。

問 五霊行政からの脱却を

答 質の高い人材を育てている

議員

五霊行政から脱却するため、直諫できる職員を育てることができているのか。

町長

公平・公正の立場で物事を考え、誠意のある質の高い人材を育成している。

議員

次期町長選挙への立候補はどうか。

町長

早い時期に表明する。

議員

教職員の削減はどうか。

教育長

今後9年間で11人減となる。

議員

全国的に小学生の暴力行為が増加傾向だが本町はどうか。

教育長

発生していない。

議員

体育館床板事故の状況はどうか。

教育長

発生していない。

議員

校舎の防護ネットが必要と思いがどうか。

教育長

設置は考えていない。

問 学校現場で長与郷土芸能盆唄を

答 取り組みは厳しい

議員

学校での「長与郷土芸能盆唄」への取り組みはどうか。

教育長

時間的な制約もあり取り組みは厳しい。



なか 悟 議員
たけ 竹 中

監視体制を作れ ごみ焼却施設

回答 施設組合で判断すると考えている

議員

今回ごみ焼却施設において、一酸化炭素基準値オーバーによる改ざん事件が発生した。この施設は、契約額が約66億円、契約期間が20年というD B O方式の巨大契約である。改ざんは会社ぐるみと考えられるものの、組合議会は調査特別委員会設置を時期尚早と決定している。地元住民の健康管理はどうするのか。また、契約管理会社との信頼関係はなく、責任の所在が不明である。第三者委員会を設立し監視体制を作るべきではないか。

町長

施設組合において判断されるものと考えている。

議員

組合に対し町長より特別委員会の設置を依頼できないか。

町長

組合での論議を見守ってほしい。

問

選挙公約の達成度は

答

住民サービスに
まい進する

議員

来年は任期満了に伴う町長選挙が執行予定である。出馬の意思はあるのか。

町長

後援会と相談の上決断する。

議員

町長は初回の選挙公約に、幸福度日本一の街にするため5つの公約をされ、特に情報インフラ事業に心血を注ぐと公言された。達成度はどうか。

町長

コミュニティFM放送とIC



改ざんは許さない

Tモデル事業を推進したが、前者については設備投資、スポンサー獲得に苦慮している。後者については、県と協議し、地域支え合いICTモデル事業の有効部分を見出し、住民サービスにまい進する。

議員

「有効部分を今後に生かす」と言われるが、具体的な取り組みはあるのか。

町長

子育て世代向けの交流サイトを考えている。

議員

コミュニティバスについてどうか。

町長

最も大きな問題は、経費の問

題。経路についても、アンケートだけではなく、住民の意見を聞きながら考える。また、地域公共交通会議での議論が必要と考える。

議員

地域公共交通会議とはどのようなものか。

町長

地域ニーズに対応した乗合運送サービスのあり方について検討し、委託または直営によるバス運送の実施を協議するとともに、地域の公共交通計画を策定、実施する目的で、自治体・運輸局・交通事業者・住民代表が話し合う会議である。

議員

昨年提言した、受益者負担の原則による官・民・企業を核とした運営計画の進捗はどうなっているのか。

町長

企業との話し合いは行っているが、具体的な集客数など見えない点が多く、苦慮している。今後も前向きに協議し、町負担軽減に努力していく。

豪雨災害の対応をどう受け止める



わけべ かずひろ
分部 和弘 議員

回答 適切なタイミングで避難勧告を

議員

9月の全国各地での豪雨災害とそれに伴う河川の決壊は記憶に新しいところである。今回の豪雨災害の対応状況をどのように受け止めているのか。

町長

自治体の防災能力の想定を超えた豪雨が急増している。茨城県常総市の鬼怒川氾濫をはじめとした9月の豪雨災害では、避難勧告の判断基準がなかったことによる避難指示の遅れが被害を拡大したとも言われている。本町では大雨・台風による災害警戒本部を8回設置した。幸い、避難勧告を出すまでには至っていないが、警戒本部では適切なタイミングで避難勧告を発令できるように、気象庁および長崎県が発表する雨量情報や土砂災害危険情報、河川水位情報などを注意深く監視している。

議員

「自助」「共助」の体制をどのように受け止めているのか。

町長

普段からの近所付き合いはもちろんのこと、自主防災組織



長崎市の防災訓練状況

や消防団・地域住民による連携した防災訓練や災害弱者の見守り体制づくりが重要であると考える。自主防災組織への研修を充実することにより、防災知識の普及促進を図り、時代に合わせた災害情報伝達手段の多様化を進め、「自助」「共助」の体制づくりに努める。

問 新たな視点での
防犯の考えは

答 犯罪に遭わない
起こさせない環境

議員

本町においては特に窃盗事例が多く、町民の大切な財産が

狙われている現状だと思う。

町、警察署および関係機関と連携を取っての防犯の取り組みを行っているが、防犯に対する考え方はどうか。

町長

安全で安心して暮らすことができる環境は、誰もが願う思いであり、町においては、「自分の安全は、自分で守る」という自主防犯意識の高揚、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という地域づくり、「犯罪に遭わない、起こさせない」ための環境づくりの推進を基本として、警察を始め、地域や学校など関係機関と連携して活動している。



防犯カメラ作動中

問 幸福度・町政運営の
評価はどうか

答 良い評価を得ている

議員

町長としての任期もあと数カ月となった。これまでを振り返り「幸福度」「町政運営」についてどのように評価しているのか。

町長

「長与町まちづくり町民意識調査」にもあるように、87%の町民が「住みやすい」と回答され、全体として満足度が高いことが伺える結果となっている。各施策についても、満足・不満足両方の観点から回答数を指数化し満足度を見ると、21年度に実施した調査と比較し、55の施策中、45の施策の満足度が向上している。良い評価を得ていると思



にしおか かつゆき 議員
西岡 克之

教職員削減は本当か

回答 定数維持に努める

議員

財務省が、今後10年間で約5%にあたる3万7千人の公立小中学校教職員削減を打ち出したが、単純に数値を本県に当てはめると、約460人の削減になる。本町も対象になるが、削減は教育力の低下になり、本町の強みが減ることになるがどう考えるか。

教育長

財務省の諮問どおりに実施されると学校現場の教育力低下や、きめ細やかな指導の低下など様々な影響が大きい。教育は未来の子ども達への先行投資である。声をあげ大幅削減を食い止めたい。

議員

前段の質問と相反するが、県教委は公立小中学校に来年度より他の教員に指導助言する「指導教諭」の配置をすることを表明したが配置はあるか。

教育長

19年の学校教育法改正で副校長、主幹教諭の配置が可能になり、本町では南小、長与小に配置している。今回の「指導教諭」配置は県全体で9人

配置であり、厳しい配置になると思うが一人でも配置できるように働きかける。

議員

教育、福祉は自治体間での競争だ。本町には高い教育力がある。これを維持するために戦略的な教育予算の拡充を引き続き求めるがどうか。

町長

教育力は、本町の強みである。引き続き努力する。

問

子ども医療費無償化進捗状況は

答

実現に向けて努力している

議員

前議会で質問したが、児童・生徒の医療費無償化への進捗状況はどうか。

町長

医療費助成について、現在対象年齢拡充に向け精査している。本町でも「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各種子育て支援事業の実施に向け取り組んでいる。

議員

元気な高齢者の活動拠点として、施設整備する考えはないか。

町長

昨年、老人クラブ連合会から出された拠点整備の請願が採択され、庁舎内で検討してきたが、社会福祉協議会が敷地内の一角に考えていると聞いている。

議員

長崎市では、非課税世帯のインフルエンザ予防接種は無料と聞かす本町ではどうか。

町長

予防接種費一部負担は実施しているが、無料化は現状では考えていない。

地域包括ケアは

議員

地域包括ケアシステムの進捗状況はどうか。

町長

医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保できる体制の構築に向け取り組んでいる。



どこに建つの高齢者施設

コミュニティバスを実現させよ



あいば 響庭 あつこ 敦子 議員

回答 できるだけ早く実施する

議員

高齢化が進む中、買い物物、通院などの日常生活に不自由を感じている、いわゆる生活弱者と呼ばれる人が増える傾向にあり、住民が安心して日々の生活ができるよう、生活の足を確保することは重要な課題である。生活交通確保の現状と課題は何か。

町長

路線バスは比較的に利用しやすい環境にある。路線維持の観点からバス利用促進に努める必要がある。

議員

「長与町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で①路線バスの充実②コミュニティ交通の導入③鉄道の充実④公共交通の利用促進とあるがどこを優先的に進めるか。



町民に望まれる
コミュニティバスの運行

企画課長

コミュニティバスから進めていく。

議員

コミュニティバスの問題は10年間、ずっと議論されているが実現は可能か。

課長

交通結節点を複数の鼻区画整理事業の中に設定すること、高齢化により利用者数が増えるので可能である。

議員

運行予定はいつか。

企画振興部長

できるだけ早く実施する。

新しい発想

議員

早めの実現を期待する。また、^{*}デマンド交通としてダイヤケア、幼稚園などの送迎バスとの連携など新しい発想はないのか。

企画課長

公共交通として一定の安全性が求められるのでバス事業者と検討していく。

議員

買い物弱者が全国で700万人と言われているが、町では

何人いるか。

企画振興部長

推定できない。

議員

運転免許証の自主返納時に、実施されている住基カードが終了になるが、それに代わる特典を考えているのか。

企画振興部理事

今後検討していく。

問

子ども貧困対策に
取り組め

答

乳幼児期から
取り組んでいる

議員

今や6人に1人の子どもが貧困のもとで暮らしており、更に深刻なことに育児放棄も含む、児童虐待の対応数は年間7万件に及んでいる。貧困の連鎖を断ちきり、適切な支援を行うことは、福祉的な側面とともに有用な人材を育てていく未来への投資でもある。子どもの貧困対策の現状と課題はなにか。

町長

「教育支援」「生活支援」「就労支援」「経済的支援」を展

開しているが手当の拡充には
至っていない。

医療費助成の拡大

議員

乳幼児期の支援で保育所との連携はとれているか。

福祉課長

気になる子どものことは連携できている。

議員

小中学生の就学支援制度の情報が必要な人に確実に届いているのか。

教育長

給食費の未納の場合などに制度を説明して支援を受けてもらっている。

議員

母子家庭の医療費助成を18歳以上にできないか。

福祉課長

高校までは対象であるが、大学などはない。

※デマンド交通

地域のタクシー会社や自治体のワゴン車などを乗り合いで利用し、予約・配車・運行を一元化し管理することによって、低コスト・低料金を実現する新交通システム。
既に全国で導入実績がある。



あべ みやこ 安部 都 議員

災害時 安全に避難できる環境を

回答 町民の安全確保に努める

議員

一時避難場所と避難所のあり方と目的の違いは何か。

町長

公園や学校など、59カ所の指定緊急避難場所の指定をした。一方、指定避難所は、一定期間滞在する場所で体育館や公共施設など26カ所の指定を行なった。

議員

公共施設は、老朽化して安全な避難場所として十分といえるのか。早急な建替えが必要ではないか。

総務課長

老朽化した公共施設の建替えは、各所管で話し合い対応したい。避難は、注意・喚起を呼びかけ町民の安全確保に努める。

議員

災害時、パニックを生じないよう避難訓練を実施したかどうか。

町長

42の自主防災組織が中心となり、長崎市消防局や消防団と協同して、避難訓練を実施した。来年度は、長崎市、本町、



「ジンリキ」を使い避難もラクラク!

議員

時津町と合同で訓練を行う。

要援護者の支援時、スムーズな避難が出来るよう、けん引式車いす補助装置「ジンリキ」を活用したらどうか。

総務課長

そんなものがあるのは初めて知った。今後勉強し、必要なところに対応したい。

問 道ノ尾駅に農家レストランを

答 駅構内への開設は困難

議員

道ノ尾駅での一日の利用者の通勤、通学者の把握はしているのか。

町長

26年度の1日の平均乗降者数

は、計1816人。近年増加傾向にあり、22年度より24%増加している。

議員

道ノ尾駅で農家レストランを開設し、農産品、特産品を販売し、活性化を図る考えはどうか。

町長

駅舎は、JRの所有で協議が必要。レストランのスペースなど考えると、駅構内への開設は困難である。



道ノ尾駅に農家レストランを!

問

マイナンバーの安全性を図れ

答

細心の注意を払っている

議員

マイナンバー制度について

は、安全性について疑問の声も上がっている。この制度に便乗し、詐欺被害も出ている。今後の取り扱いの安全性についての対策を聞く。

町長

番号制度を円滑かつ確実に導入し、さらなる住民サービスの向上や行政事務の効率化を推進するため、具体的な取組体制を「マイナンバー制度行動計画」として策定した。事務担当職員には、パスワード管理を実施しセキュリティ対策として、個人用業務端末からインターネットへの接続を切り離すなど、細心の注意を払っている。

議員

不在者通知で戻ってきた通知カードは、どのくらいか。

住民課長

11月末で、913通の5・3%である。

議員

住民へのマイナンバー臨時説明会の開催の予定はないのか。

町長

今のところ、臨時説明会をすすつもりはない。

新図書館建設へ向けての進捗は



あんだう かつひこ
安藤 克彦 議員

回答 用地購入に向けての議案を上程中

議員

新図書館基本構想が今年3月に示されたが、以前から建設に関しては補助金を探している趣旨の答弁に終始している。基本構想で今年度予定の図書館準備室の設置もまだである。町はスピード感を持って取り組んできたのか。

副町長

補助金がなければ建設は難しい。補助金を探しているが文科省ではない。国交省関係の補助金は法規制があるので、いろいろなハードルがある。将来のことも見据えながら、どの補助金も有利で最適なものが研究をしている。複合的な補助金も考えている。

議員

財政が厳しいのは十分理解する。ただ、基本構想策定段階で資金計画も示し、財政のことも分かっていたこと。このままでは北陽台に購入する土地は眠らせたままになる。そんな状況でいいのか。

町長

新図書館は早期に作りたい気持ちで一杯だ。ただ、都市計



早く、新しい図書館を!

画道路西高田線の補助金が思ったように降りてこない。また、高田南土地区画整理事業も30年経つ。今のまま進めるとかなりの事業費が掛かるので、早くあげるための方法も考えている。もし、高田南が計画通りにできないというところになれば、すばっと図書館に切り替える方法もある。

議員

図書館建設のための基金創設についてどのように考えているのか。

町長

教育委員会所管の基金を再編して、新図書館建設を含めたところで対応したい。

議員

この基金は図書館の内部設備や図書購入以外の建物建設にも活用できるのか。また基金の現在残高はいくらか。

教育次長

利用できる。10月末の残高は6億3千6百万円。

議員

建設へ向けての現状を説明し、要望や思いを聞く新図書館に特化した住民説明会を開催する考えはないか。

町長

これまで、各種会議やほっとミーティングなどで詳しく説明してきた。引き続きこのような形で住民に説明していきたい。

議員

開かれた町政を掲げる町長としては、膝をつき合わせる形で図書館建設について住民に説明をするべきと思うがどうか。

町長

コミュニティー等のほっとミーティングでこれからも説明していきたい。

問 ふるさと納税への積極的な取組を

答 担当部署を変え取り組んでいく

議員

ふるさと納税への積極的な取組を行ってはどうか。

町長

現在、あくまでも寄付ということ前提に、謝礼についてはこちらで選んでいる。今後は担当部署を変更して、謝礼品については特産品のPRも兼ね、地元の物を多く取り入りたい。寄付者が謝礼品を選べるパンフレットの作成など充実させていく。



本町がお礼に送る特産品の一例



公園に健康器具を設置せよ

回答 設置を検討したい

議員

公園は地域住民が身近な場所で気軽に憩い、遊ぶ空間として重要な役割がある。場所によっては高齢者、子ども、いづれかが利用しづらい実態があったり、利用度が低い箇所がみられる。高齢者が増加している地域では、高齢者向け健康器具を設置してほしいとの意見が出されている。設置



健康器具を身近な公園に設置しよう

を促進している自治体も増えている。高齢者が多い地域の公園に健康遊具を計画的に設置してはどうか。

町長

健康器具系施設は大人の健康、体力保持が目的で、全国的にも増加傾向である。高齢者福祉へ対応するため設置を検討していきたい。

問 若者向けのリフォーム制度検討を

答 空き家のデータベースを作る

議員

既存の住宅団地では、高齢化の進行とともに空き家が増えていくことが想定される。そこを若い世代が購入し居住する際、改装費の一部を補助するという新たな視点が住民ニーズとして出てくると考える。総合開発審議会の長与町コンパクトシティ構想に対する提言（答申）には、高齢化を踏まえた住宅政策を明確化していくことが重要であるとして、子育て世代の定住促進策として住宅リフォーム助成制度の重要性を提言している。地元商工業の活性化策に加え、人口対策としての視点をとり入れた住宅リフォーム助成が検討できないか。

町長

住宅リフォーム助成事業は、地域経済の活性化や居住環境の向上を目的として、25年度から2年間実施した。また、27年度は国の交付金を活用して、住宅、店舗、購入後の居住に備えた改装も対象とするなど、補助対象を拡大して実施し、一定の経済波及効果が認められる。

多くの団地から成り立つ本町としては、今後、団地の再生が重要な課題となっていく。経済効果ということだけではなく、移住・定住対策の推進を図る上で、空き家の有効活用への必要性は認識している。まずは28年度、空き家の情報収集とデータベース化を図った上で、具体的な移住・定住促進のための支援策を検討したい。



かわの たつじ
河野 龍二 議員

西高田線の先線は中止を

回答 見直すべきは見直す



町道かさ上げで影響はないか

議員

都市計画道路西高田線の変更はなぜか。

町長

歩道の幅員を縮小しただけで、道路の形態の変更はない。

議員

役場前の町道かさ上げの対象件数は。

町長

住宅で1件。アパート1件。店舗が5件。

議員

かさ上げに伴う、補償および改修費用はどれくらいか。

町長

地権者と対策を協議中で、費

用は算出できていない。

議員

財源はどうするのか。

都市整備課長

西高田線の縮小などで、財源も捻出できると考える。

議員

かさ上げに伴う被害が出た場合の対策はあるのか。

課長

被害がでないように対策を行う。

議員

都市計画マスタープランでは、西高田線先線が計画されている。

今後も費用がかかる道路は、

この際中止すべきではないか。

町長

見直すべきものは、見直していききたい。

問

TPPの合意に懸念を示せ

答

意見としてあげていきたい

議員

6次産業をどのように進めていく考えか。

町長

県が行う6次産業サポートセンターを通じたプランナーによる指導や協力で、現在行われている取り組みを、拡大していきたい。

議員

TPPの影響をどう考えているか。

町長

国・県より、具体的な説明は行われていない。

議員

TPPの影響懸念を発信すべきではないか。

町長

町村会などでできないか、意見としてあげていきたい。

子ども医療費助成拡大はいつから

答 来年4月実施に向け努力していく

議員

子ども医療費助成制度の拡充は、いつから行うのか。

町長

来年4月より実施したい。

議員

拡大範囲をどのように考えているのか。

町長

現在、調整している。

議員

本町の特色である教育の町、子育てしやすい町をアピールするために、他の自治体よりも、制度を充実させ、中学校卒業まで医療費助成を拡大

町長

するべきと思うがどうか。努力したい。



中学校卒業まで医療費助成を

より開かれた議会を目指し 第3回議会報告会を開催しました

10月29日、長与町水道局において、長与町議会基本条例に基づき、第3回長与町議会報告会を開催いたしました。今回の参加者は18人でした。皆さまからのご意見、ご要望につきましては、議会として執行部に伝え、速やかな対応を要請していきます。

議会としても、今後の町行政にどのように取り扱われるか委員会や一般質問などで執行部と議論していきます。会場で頂いたご意見の一部を紹介します。

◇ 議会報告 ◇

問 議会報告会の資料に議員の視察日程場所などの一覧表を載せてほしい。

答 次回から載せていくということとで、検討する。

問 視察報告は持ち帰り、どうアクションを取ったのかを載せていくべきではないか。

答 住民福祉に繋がらなければ意味がないことは当然であると思う。詳しい報告書は議会事務局にあるので閲覧してほしい。

要望

議会報告会を定例化し、議会が終わったところで開催するか決めてほしい。グループに分かれて回るなどの検討をしてほしい。

◇ 意見交換会 ◇

意見・要望

・報告会の参加者を増やす努力をしてほしい。

・ワークショップ方式は良い。直接コミュニケーションが取れる機会があることは良いことだと思う。

・初めて参加した。議員が地域に入り報告会などができるようになれば良い。

・町は西高田線の工事の説明をする時期が遅いのではないか。

・インターネット中継の画像は聴覚障がいがある人には見えない。字幕を付けられないのか。

・入浴券は障がいがある人には使いにくい。美、理容に使えるなど、他の使い道があると助かる。



町民参加の拡大と議会活性化のため、長与町議会基本条例が制定され、その具現化のため2回目の「住民懇談会」を開催しました。

11月18日、長与町の新しい図書館を想う会（以下、想う会）の申し込みにより、新図書館建設を巡る動きを中心に、議会側から現状を説明後、意見交換を行いました。

まず、想う会から、現在の図書館は、貸出中心で本来の図書館としての体を成していないと感じていることや、今後、若い世代に住んでもらうためにも、魅力ある施設を作ってほしいなど、多くの意見が出されました。これらに対し、議会として答弁できるもの、町部署の対応が必要なものを整理

有意義な意見交換の場に

しながら進行されました。今回の懇談会も、活発な議論が展開され、盛会裏のうちには終了いたしました。

今後、受けた要望などは各議員が議会活動や委員会審議などで活かしていきます。

出席者

長与町の新しい図書館を

想う会

関係者 15人

議会議員 9人



あなたの声を聞かせてください！

住民懇談会の開催を募集

町民と議会が直接対話し、まちづくりの課題や議会に関する意見交換の場として、住民懇談会を開催します。

【懇談のテーマ】

①まちづくりに関すること ②長与町政に関すること ③長与町議会に関することです。

【申し込みできるのは】

長与町民、その他長与町に関する活動などを行う団体で、おおむね10人以上の参加が見込めるグループとします。（政治団体、宗教団体および、公益以外の営利目的の団体、公序良俗に反する団体などは、懇談会の対象となりません。）

【申し込み方法】

「住民懇談会申込書」（ホームページからダウンロードできます）に団体名、会議のテーマ、希望日時、参加予定人数をご記入いただき、長与町議会事務局にお申し込みください。FAX、メールでも受け付けます。

申し込み後、開催内容に関する事項について協議させていただきます。

【問い合わせ】 長与町議会事務局 TEL 801-5700 FAX 887-2144

議会広報広聴常任委員会では、「笑顔」をテーマに表紙の編集をしています。そこで、住民の皆さまから表紙写真を募集いたします。

- 郵送 〒851-2185 長与町嬉里郷659-1 長与町役場 議会事務局「議会だより表紙写真」行 とご記入ください。
- 持参 役場4階議会事務局まで

※候補となる写真が多数の場合は、掲載されない場合があります。
※おおむね、1年以内に撮影された写真を対象とさせていただきます。
※掲載にあたっては、写真の季節なども考慮させていただきます。
※応募される際には、被写体となっている方（未成年の場合は保護者）の承諾を受けておいてください。
※公的な行事・イベント等で撮影された写真を優先的に掲載します。

選挙管理委員

および 補充員の選挙

本会議で行った選挙の結果、
次の方々が当選されました。

○選挙管理委員（4人）

辻田 壯太郎さん（吉無田郷）

下條 元子さん（高田郷）

馬場 芳子さん（三根郷）

松添 高明さん（まなび野）

○補充員（4人）

境 ケイ子さん（嬉里郷）

井手 富雄さん（吉無田郷）

鶴田 輝男さん（吉無田郷）

西出 和美さん（丸田郷）

総務文教常任委員会 調査報告

図書館・コミュニティバス導入などを調査

委員長 喜々津 英世

○調査期日

10月13日から15日

○調査場所

・石川県金沢市
・福井県永平寺町
・京都府長岡京市

○調査目的

・図書館建設および運営
・コミュニティバス事業
・事務事業の外部評価

○研修内容

金沢市海みらい図書館

1万1763㎡の敷地に、延床面積5438㎡の図書館が総工費約45億円をかけて23年5月に開館。本年10月には入館者数が300万人を突破する人気の図書館で、「世界の魅力的な図書館20選」にも選ばれている。

数多くの企画展を展開し、図書コーナー以外にも移動観覧席付き交流ホール、集會室、グループ室、ギャラリー、生涯学習コーナーなど設備も運営もすばらしかった。

永平寺町

人口約1万9300人のうち65歳以上の高齢者が5500人の町である。18年2月に3町村が合併。合併前から福祉バスを運営していたが、合併後にコミュニティバスに転換し、バス2台、ワゴン車2台で3地区・15路線で営業中。26年度の町の実質負担額は、約4660万円にも上り、財政を圧迫している。

アンケート結果を踏まえ、課題を抽出し、運行ルートおよびダイヤの見直しを進められている。

長岡京市

外部評価は「将来都市像実現のため必要な計画事業が、都市経営の推進と行政サービスの向上などの役割を果たしているか検証する」ことを目的としている。

評価は、学識・有識者2人と市行財政健全化推進委員の3人が行っている。評価の結果は、必要な施策の実現に生かすとともに、次年度の予算編成や次期総合計画の策定に活用している。

○研修を終えて

27年3月に「長与町新図書館基本構想」が答申され、この構想を踏まえて「海みらい図書館」を視察した。各種イベント開催、情報の発信、住民の交流の場の提供など、運営および活用は参考になった。

コミュニティバス問題は、町長および議長から「導入の目的を明確にし、覚悟を持って取り組まなければ破綻する」との発言もあった。導入に当たっては徹底した議論が必要と肝に銘じた。

事務事業の外部評価は、公開の場で実施しているが市民の関心は薄い。職員による内部評価が中身が濃い、職員の負担感もあることも考慮し、27年度は実施していない。評価はパフォーマンスではできないと感じた。

調査の成果は、一般質問や委員会審査などに生かしていきたい。

地域包括ケアシステムなどを調査

委員長 河野 龍一

○調査期日

11月9日から11日

○調査場所

- ・和歌山県有田市
- ・滋賀県守山市
- ・大阪府交野市
- ・奈良県五條市

○調査目的

- ・6次産業について
- ・水質管理について
- ・地域包括ケアシステムについて

○研修内容

有田市 (株)草和果樹園

6次産業について

みかんに特化した、加工品販売に取り組む、大手百貨店、海外にも販路を求め活動している。生産面でも、ICTを活用し、良質な果樹の生産に取り組んでいる。消費者を意識した品質向上、経営企画、商品開発が、地域経済、雇用でも大きな役割を果たしている。

守山市 ファーマーズマーケットおうみんち (おうみ富士農協)

6次産業について

直売所にレストランを併設。農産物、食の安全・安心へのニーズの高まりの中、消費者・地域住民などを巻き込んだ、農産物販売に取り組む。

企画力で、消費者に農業の大切さ、地元農産物の必要性、安全性をアピールし、地場産物の購買力向上に貢献して

いる。

交野市 星の里浄水場

水質管理について水源を地下水と、大阪広域水道企業団から求め、年間7860tを排出している。ミネラル豊富な水質を、薬品処理を行わず、微生物を用いた、生物処理で「おいしい水」の提供できる高度な浄水処理業務を行っている。

五條市

地域包括ケアシステムについて

山間地の地域包括ケアシステムの構築。地域住民、地域組織、公的団体とともに作り上げ、地域住民のケアを日常的に行っている。

○研修を終えて

6次産業の取り組みでは、農産物の必要性、重要性をいかに、消費者や地域、生産者に理解をもらうか、企画力、行動力で順調な経営を行っていた。衰退しつつある農業の回復に必要な取り組みである。

水質管理では、技術開発により今後の取り組みにできるよう、期待したい方法であった。

地域包括ケアシステムでは一部の山間地の取り組みだったが、地域にある潜在力を見出し、多くの関係者が関わる環境を作り出すことが必要と感じた。

正規の調査報告書は全議員が提出しています。議会事務局で閲覧できます。

27年第4回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川圭一	中村美穂	安部都	饗庭敦子	安藤克彦	金子恵	分部和弘	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	内村博法		
執行機関	長与町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	
	長与町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町教育振興基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	
	長与町土地開発基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	
	長与町部設置条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	
	長与町防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成27年度長与町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	平成27年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議会	平成27年度長崎都市計画事業長与町土地画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	平成27年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町議会基本条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

〔○賛成 ▼反対 ■棄権 -欠席〕 *議長は採決に加わらないため「※」で表示

傍聴席から

次の定例会は

3月2日(水)

の予定です

傍聴をお待ちしています

町民に開かれた議会へ工夫

以前に比べて、一般質問の通告内容が事前にHPに公開されるなど、町民に開かれた議会であり、工夫されていると感じている。質問の内容は多岐にわたり、町政のあらゆる分野に興味のもてる内容であった。

議員の再質問については、もっと踏み込んで具体性に富む内容でもっと理事者側に切り込んで欲しい。長与町の今後を考えるなら、議員も理事者側も、もっと危惧し危機感を持つべきではないのかと思います。(60代 女性)

避難困難者に支援を

避難困難者に対する支援、援助、誘導等の手立てについての答弁は「自治会まかせ」だった。町としての対応が極めて消極的だと思います。人命を守ると言いながらこのような姿勢に疑問を抱くと共に、大変心配です。きめ細かな対応をお願いしたいと思います。

(70代 男性)



皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

12月議会の傍聴者は
延べ**61人**でした

議長交際費

27年10月1日から12月31日までの
総額と件数

寸志・慶祝など	25,000円 (4件)
弔慰 (生花スタンド・香典など)	10,000円 (1件)
視察研修土産代	32,085円 (7件)
支出合計	67,085円 (18件)

議会情報を発信中! コメントをお待ちしております。

— 長与町議会 — いいね!
facebook をよろしくお願いします

facebook <http://www.facebook.com/nagayochogikai>

現在 **388名**
(1月上旬)



QRコード



編集後記

謹んで新春の

お喜びを申し上げます

輝かしい年頭に当たり皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

12月定例会において、「町民のニーズや行政課題に迅速かつ柔軟に対応し、住民にとって明確で利便性の高い組織とするため」として、町の組織改革を行う旨の議案が可決されました。町民第一の行政運営に期待するとともに、議会も、町民に対しい開かれた議会の実現のため積極的な議会情報の公開に努めてまいります。
(浦川 圭一)

議会広報広聴常任委員

委員長 金子 恵
副委員長 安部 都
委員 浦川 圭
中村 和美
分村 和弘
岩部 則
吉永 清彦
竹中 悟



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。